

# 西紀っ子だより



「未来を切り拓き、夢をかなえる力の育成 ～郷土を愛し ところ豊かに たくましく～」

◇丹波篠山市立西紀小学校

◇〒669-2716 丹波篠山市乗竹650

◇TEL: 593-0024 ◇FAX: 593-0249

◇E-mail: [el-nishiki@school.sasayama.jp](mailto:el-nishiki@school.sasayama.jp)

◇HPはこちらへ→



No. 8

(文責: 安井健二)

## 「足下を見て」

校長 安井健二

4月に生まれた孫が8ヶ月になり、つかまり立ちをして、つかまってちょっと屈伸したりして、自立歩行カウントダウンになってきました。それを見ながら「さむい!」「寒いから無理して動かんところ!」と思ってしまうじいじがいます。あたたかい鍋料理を目の前にすると、お医者さんに「太ったらあかんよ!」と言われていても、もう一人の自分が「今日ぐらいいは大丈夫!」と嘯いてきます。最近、そんな孫に負けないようにと、万歩計を付けて「目標10000歩」にしている私です。「もう5000歩くらいかなあ?」と万歩計を見ると、まだ3000歩くらいの時がよくあります。なかなか継続して目標を達成することは容易なことではありません。

さて、先日マラソン大会がありました。掲げた目標を達成して上位に入った人、大会新記録を出した人もいました。また、高速スタートを切った直後にこけてしまい、周りの誰もが「もうやめるんじゃない!?!」と思っていたにもかかわらず最後まで走り切った人、自分が予定していたよりも長い距離を走り、みんなの声援を受けながら感動のゴールをした人など、一人一人にとってオンリーワンのドラマがあったように思います。

「西紀っ子」が得た充実感は、目標に向けた練習期間からがんばり、そして、当日その目標に向けて一歩ずつ着実に進んでたどり着いた一つのゴールだと思っています。全員に拍手・拍手です。

マラソンランナーの高橋尚子さんが、あるインタビューの中で「長い階段を一気に上がろうとすると、途中でへばってしまいます。でも一段ずつ上がっていけば、時間はかかっても頂上まで上がることができます。」と言われていました。

遠くだけを見て、一足飛びにそこに到達しようとする、足下が見えなくなります。そのために石ころやわずかな段差につまずいたり、転んだりすることがあるということなのかもしれません。

私たちの生活でも同じようなことが言えます。「大事をなさねば!」と気負って、壮大な夢、目標を立てることは良いのですが、現実とあまりにかけ離れていると、「さあ、やろう!」と思っても、何からしたらいいのか分からなくなって、夢だけが漠然とあって、目標を持って何もできなくなったりします。

もちろん、「目標」や「夢」を持つことは大切です。ただ、それはあくまでも自分の進むべき方向性を定めたものです。大まかなルートを決めたら、あとは「足下を見つめて」今やるべきことをコツコツやっていくのみなのかもしれません。

いよいよ、「西紀っ子」も運動会、発表参観日、修学旅行、創立150周年記念行事など、日々の生活をがんばってきた二学期を終え冬休みを迎えます。「西紀っ子」がこの一年を振り返り、新たな目標を作り、その目標に向けて一歩ずつ着実な歩みを進めてくれることを期待しています。

「西紀っ子」の応援をよろしくお願いします。

西紀小学校の応援団の皆様にとって、良い年末と新年を迎えられますことを願っています。

## 発表参観日、創立 150 周年記念式典を開催しました。

11月22日、発表参観日と創立 150 周年記念式典を開催しました。

午前中に児童が日頃の学びの様子と学びの成果を発表する「発表参観日」を開催しました。一人一人が好きなことやできるようになったことを発表し友だちの良いところを見つける発表、調べた内容を動物クイズにした発表、驚くほど長い文学作品や文章を暗唱した発表、自然



に寄り添い自然を体感して学んだ環境問題について発信する発表、修学旅行を通して「平和とは何か?」という疑問について学び、さらに調べ、考え、自分の言葉で発信した発表などがありました。

どの学年も目的、テーマがはっきりしていて、加えて発表方法も年齢に合わせた工夫がされており、分かりやすくしっかりした発表でした。保護者の方からも、大きな拍手をいただきました。

午後には、創立 150 周年記念式典を開催しました。

丹後丹波篠山市教育長様をはじめ、卒業生の皆さま、地域の皆さま、保護者の皆さま、そして、今、西紀小学校の伝統のバトンを引き継いでいる「西紀っ子」が一同に集い西紀小学校の創立 150 周年を祝いました。

「過去、現在、そして未来へ～心のバトン～」と題した若者・先輩・大先輩の主張では西紀小学校に在籍されていた当時の思い出話と、在校生に向けた励ましの言葉をいただきました。また、過去から現在までの写真と映像を綴った「思い出のスライドショー」と「思い出ギャラリー」の展示では、「懐かしい!」という声があちらこちらから聞こえました。

最後は、元気いっぱい校歌を歌って締めくくりました。

そして、160周年、170周年・・・200周年に向けて、新たな一歩を踏み出しました。

